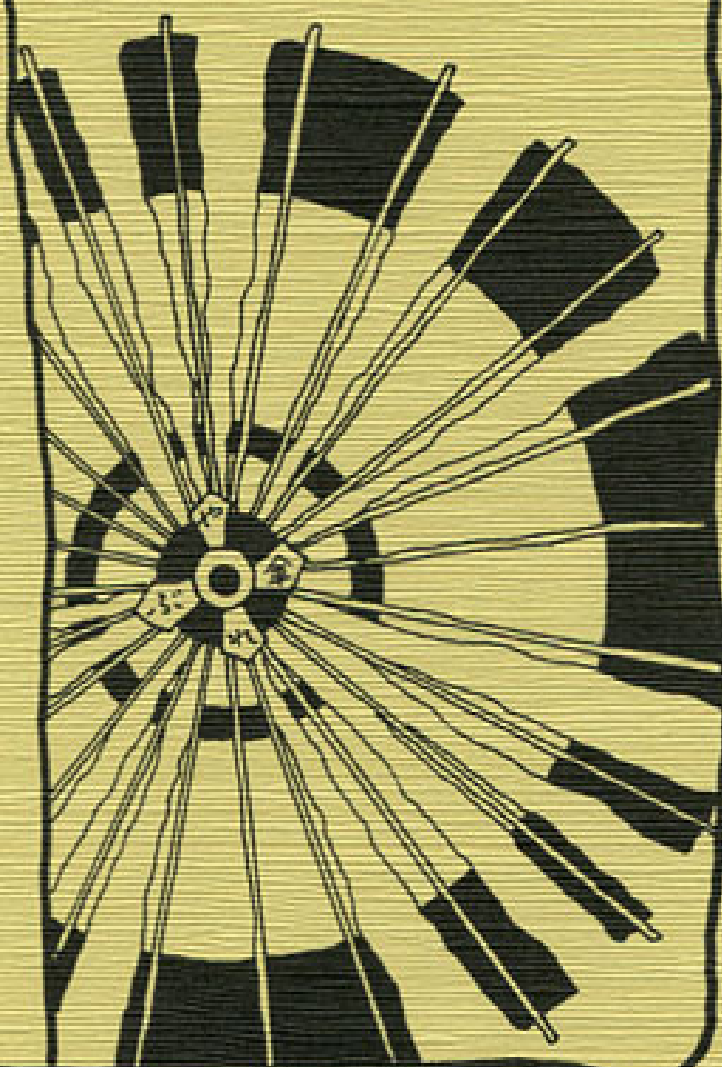


やぶれ傘

六十五号

二〇二二年四月



春風は阿波のれんこん畑にも 梅が香やゆるりと動く風見鶏 着膨れの現場監督走るかな ストマイの耳鳴り今も去年今年 凍つる日のバナナの皮を剥きにけり 作業場の木屑の匂ひ春隣 藪椿採石場に発破鳴る 築垣に枯木の影や神田川 ほろ苦き味は細魚の刺身かな 雪折れを踏んで殺生石あたり そこここと水底濁し春の魚 春の月雨戸を閉める長廊下 柱状節理の聳ゆる岬野水仙 大寒や真間の手児奈の手水鉢 冬木立夕日に影を正しゐる	根橋宏次 廣瀬雅男 きくちきみえ 瀬島洒望 大島英昭 丑久保勲 藤井美晴 渡邉孝彦 天野美登里 安藤久美子 白石正躬 國保八江 有賀昌子 久世孝雄 秋山信行
---	--

抄 集 句 選 夫 紀 大 崎 傘 ぶ れ や

聖夜かなホルンの音のまろやかに 春立つ日エンジン軽くかかりけり 寒稽古籠手つけ終へし師範代 水底の落葉集まるひとところ 二人来てをり庭園の寒紅梅 地に落つる木の葉の音の乾ききり いつまでも頭の真上春の雲 冬帽子すぐ使ふやと店主問ふ 顔丸き雛に午后のひざしかな 去年今年氏神の鈴鳴らしけり 深雪晴神木に手をおきにけり 柴又のしやうゆの匂ひ冬うらら 地平まで広がる沃野麦青む 梅ふふむ慣らし散歩は神社まで 初雪を踏んで朝刊取りに行く	浅嶋 肇 岩藤礼子 小川 滋 奥田温子 上林富子 菊地葉子 黒木東吾 小山陽子 高柳正幸 都丸スミ代 貫井照子 野口朝世 松村光典 松本正生 森美佐子
--	---

雀

藤井美晴

よく晴れて雀十二羽梅の枝
 梅の香や何やら虫の羽音して
 斑雪むくろの鼠尾の太き
 藪椿採石場に発破鳴る
 春雨の並木にパンを焼く匂ひ
 学校の跡の石段なづな咲く
 春キャベツ城ヶ島より風の来て
 見舞ひより戻る堤の鳥曇
 抜きんでて高き煙突かげろへる
 欄干の陰ながたと暮れ遅し

多摩川

渡邊孝彦

群雀子規球場の裸木に
元日の一枚ごとの田んぼかな
築垣に枯木の影や神田川
くつきりと晴るる多摩川山眠る
投句者に七草粥の振る舞はれ
左義長の賽銭箱の立つ田かな
太鼓の音止めば気になる寒九の夜
立春の田の水口を直しけり
磴と磴つなぐ石敷き春寒し
三桎や石橋くぐる水の音

細 魚

天野美登里

牡蠣小屋の席にビールの箱並べ
春近き川の流れを掬ひけり
源流の砂ぽこぽこと冬尽きる
お汁粉の小豆を掬ふ春隣
ほろ苦き味は細魚の刺身かな
畦焼の火の残りぬる夕べかな
長靴に履替へてをり石蓴採り
雪割りの鶴嘴振ふをんなかな
春昼のうづ潮青く白くかな
バス停は野面積みまへ百千鳥

鶯餅

安藤久美子

雪折れを踏んで殺生石あたり
軒氷柱一度に落とす横なぐり
雪道を来て湯に沈めたる震へかな
針山に糸つけし針春隣
春の日や積み置く資料崩れ勝ち
ざつくりと鋏を使ふ桃の花
啓蟄の走り根といふ座に休む
棚田へと春の水音生れにけり
雛の間の灯を消す頃や地震小さき
ひとくちの鶯餅に茶は渋く

春の魚

白石正躬

日脚伸ぶ渡船に客のひとりなく
稲藁の吹き曝されて春立てり
春は曙犬の転がしゐる食器
そこここと水底濁し春の魚
春風の渡し場の旗揺らしけり
早春の空へさし入る野の煙
梅林の「あらあら」の声春の雪
春耕の足跡残しゆきにけり
踏青やときに石ころ蹴飛ばして
里人に径を尋ぬる路の藁

長廊下

國保八江

春着着て少しお澄まししてゐたり
水仙の匂ふ生家でありにけり
冬日燦塔の九輪に水煙に
大川にその影揺るる冬の月
孫たちの来る日の布団干しにけり
雪催ひ海へと消ゆる鳶のこゑ
降る雪に積りし雪に見入りけり
咳く夫も我も齢も古りにけり
春の月雨戸を閉める長廊下
春寒の灯点しごろを灯さずに

野水仙

有賀昌子

冬 薔 薇 咲 け り 三 菱 一 号 館
脱 ぎ 置 き の 皮 手 袋 の 指 動 く
大 い な る ひ と こ へ 不 意 に 初 鴉
高 橋 や な が れ の ゆ る き 冬 の 雲
堀 割 の 風 の そ よ ぎ や 三 十 三 才
ち ち は は の 墓 へ の 小 徑 す み れ 草
書 初 め は ふ と く み ら い と ひ ら が な で
水 仙 の 揺 る る に 抱 か れ 眸 句 碑
柱 状 節 理 の 聳 ゆ る 岬 野 水 仙
削 り 節 を な か 高 に 盛 り は う れ ん 草

風邪の妻

久世孝雄

大寒や真間の手児奈の手水鉢
夢に醒め肩冷えびえと晒しをり
寒気裂く木工場の電気鋸
風邪の妻筋の通らぬ話して
春近し子犬譲るとビラのあり
検診の結果待つ間の黄水仙
堰超ゆる水音高くふきのたう
春の雨ぬれせんべいの醤油味
小魚を狙ふ鷺の目水温む
新しき鍬の切れ味春耕す

大 水 美 川 盆 梅 菜
 玻 道 の し よ 梅 旬
 璃 蛇 の き り の 梅 句
 戸 口 物 も 根 ふ
 冬 蛇 光 張 風 瑞
 日 口 の 張 風 々
 咥 を 言 ま り 向
 へ 締 ひ ぶ た 計
 て め ひ ぶ し し 向
 結 年 方 三 しか 東
 露 終 ケ 三 かに 摘
 落 年 日 三 花 み
 つ る 日 柳 一 花 摘
 け す 柳 輪 指 花 摘
 り す 柳 輪 指 花 摘

阿久澤利男

笹 年 冬 霜 板 冬 昼
 鳴 の 木 除 の ざ の
 や 市 立 け 間 ん 日
 ま 満 夕 の 正 肌 や
 だ 月 日 藁 に 削 削
 明 雲 に 朝 座 削 削
 け を 影 日 朝 座 削
 や 透 を 日 朝 座 削
 ら か 正 の 朝 座 削
 ぬ し し 差 の 朝 座
 不 し し 差 の 朝 座
 動 し し 差 の 朝 座
 堂 し し 差 の 朝 座
 山 し し 差 の 朝 座
 信 し し 差 の 朝 座
 行 し し 差 の 朝 座

秋山信行

◇ 5月・6月の句会案内

月	日	時	句 会 名	会 場	連 絡 先
5 月	1 日 (火)	AM9:00	こ な か ら 会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	1 日 (火)	PM6:00	う ら ら 会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	2 日 (水)	PM7:00	ぎ ん な ん 会	浦和コミセン	丑久保 勲
	14日 (月)	PM6:00	な ご み 会	浦和コミセン	丑久保 勲
	19日 (土)	PM2:00	セニョリータ句会	WE P 俳句教室	藤 井 美 晴
	23日 (水)	PM6:00	三 斗 会	WE P 俳句教室	丑久保勲・WEP
	26日 (土)	AM10:00	楽 天 会	中央公民館	廣 瀬 雅 男
	27日 (日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WE P 俳句教室	WE P 編集室
6 月	1 日 (金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	1 日 (金)	PM6:00	な ご み 会	浦和コミセン	丑久保 勲
	4 日 (月)	PM7:00	ぎ ん な ん 会	浦和コミセン	丑久保 勲
	5 日 (火)	AM9:00	こ な か ら 会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	5 日 (火)	PM6:00	う ら ら 会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	16日 (土)	PM2:00	セニョリータ句会	WE P 俳句教室	藤 井 美 晴
	17日 (日)	AM10:00	吟行会 (下記注)	明 治 神 宮	丑久保 勲
	23日 (土)	AM10:00	楽 天 会	中央公民館	廣 瀬 雅 男
	24日 (日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WE P 俳句教室	WE P 編集室
	27日 (水)	PM6:00	三 斗 会	WE P 俳句教室	丑久保勲・WEP
	29日 (金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター

(注) 5月のNHK大崎教室はゴールデンウィークのため中止。代わりに6月29日(金)に行います。

5月のなごみ会は5月14日(月)です。

6月17日(日)の吟行。集合は10時。JR山手線・原宿駅改札口。句会場はWEP俳句教室。

◎ 連絡先 瀬 島 孟 ☎ 048-862-2757 藤 井 美 晴 ☎ 0422-55-2733
 大 島 英 昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870
 廣 瀬 雅 男 ☎ 048-443-7522 浦和コミセン ☎ 048-887-6565
 丑久保 勲 ☎ 048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ